



2022年2月17日
九州電力株式会社
ニッポンレンタカーサービス株式会社
東京センチュリー株式会社
日本カーソリューションズ株式会社

電気自動車（EV）レンタカーを活用した新たな取組みを開始します
－平日は業務用車両・土日祝日はレンタカーとしてEVを活用－

九州電力株式会社（本店：福岡県福岡市、以下、九州電力）、ニッポンレンタカーサービス株式会社（本社：東京都千代田区、以下、ニッポンレンタカー）、東京センチュリー株式会社（本社：東京都千代田区、以下、東京センチュリー）、日本カーソリューションズ株式会社（本社：東京都千代田区、以下、NCS）の4社は、電気自動車（EV）レンタカーを活用した新たな取組みを本日から開始します。

記

この取組みは、EVリースにおける豊富な知見・実績を有するNCSがニッポンレンタカーにEVを提供し、平日は九州電力が業務用車両として利用し、土日祝日などの休日はニッポンレンタカーが薬院駅前営業所（福岡市中央区）でEVレンタカーとして一般のお客さまにご利用いただくものです。

この取組みは、業務用車両のEV導入に留まらず、レンタカーとしての活用を通じて一般のお客さまに気軽にEVをご利用いただくことで、EVの普及拡大およびシェアリングエコノミーにもつながるものとなります。

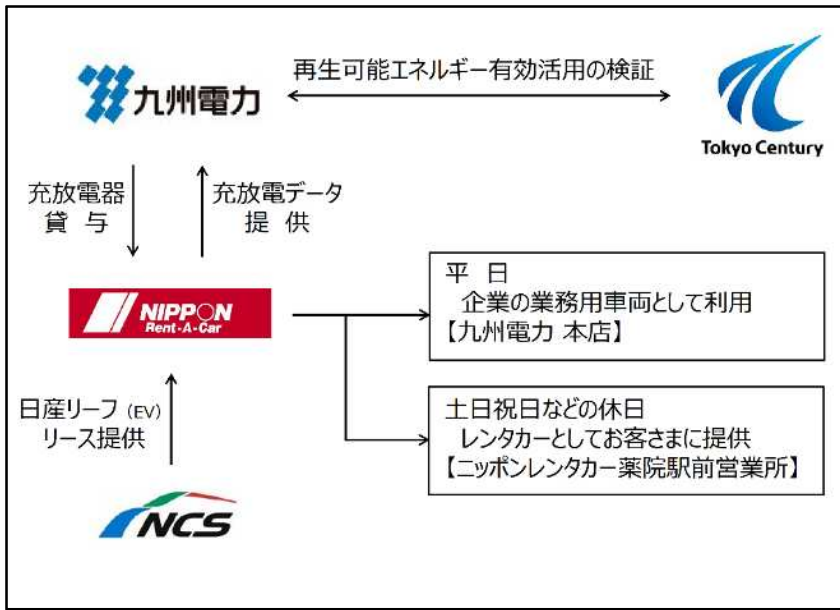
また、多くの太陽光発電が稼働する九州においては、再生可能エネルギーの有効活用のため、蓄電池を活用する機会の増大が見込まれており、将来的にEVが普及した際には、EVのバッテリーを蓄電池として活用するスキームも考えられます。これを見据え、今回は、東京センチュリーが九州に所有するメガソーラーとEVの蓄電池機能を組み合わせることによる、再生可能エネルギーの有効活用についても検証します。

九州電力は、九電グループカーボンニュートラルビジョン2050に掲げる「電源の低・脱炭素化」と「電化の推進」を柱とし、EVの普及拡大に向けて、EVタクシーの導入やマンションでのEVシェアリングなどお客さまに合わせた最適なサービスの提供などに取組んでいます。また、ニッポンレンタカー、東京センチュリー、NCSの3社は、マテリアリティに「脱炭素社会への貢献」を掲げ、自動車のEV化進展に伴う多様な事業機会の創出に取組んでいます。

今後4社は、この取組みを通じて、EVの普及拡大を更に推進することにより、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。

以上

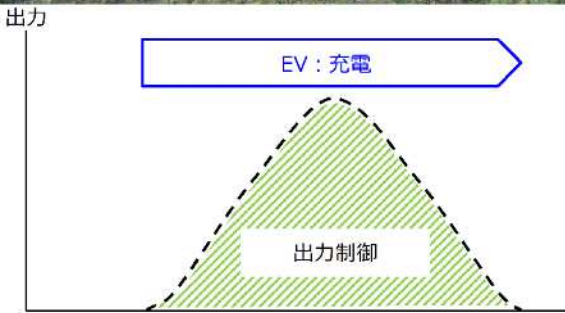
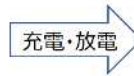
【今回のEVレンタカー活用スキーム図】



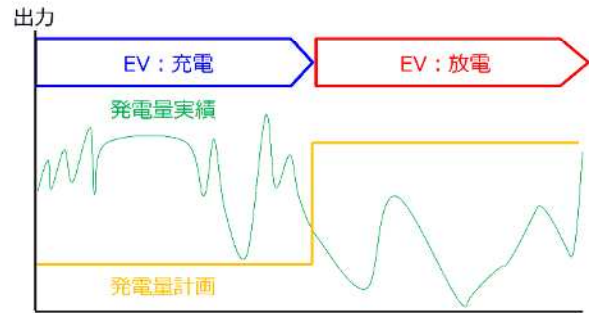
【ニッポンレンタカー薬院駅前営業所】



【再生可能エネルギーの有効活用に向けたEV活用イメージ】



メガソーラーの出力制御時にEVの充電を組み合わせ、電力需要の創出



メガソーラーの発電量計画に対して、発電量実績が一致するようにEVの充放電を組み合わせる

＜本件に対する問い合わせ先＞

- 九州電力株式会社 ビジネスソリューション統括本部 地域共生本部 報道グループ
担当：守田 (092-741-2516)
- ニッポンレンタカーサービス株式会社 広報室
担当：古河 (03-6859-6140)
- 東京センチュリー株式会社 広報 IR 部
担当：山下 (03-5209-6710)
- 日本カーソリューションズ株式会社 経営企画部
担当：島松 (03-5207-2100)